

### 里海づくり研究会議の発足に際して

里海づくり研究会議理事長 奥田節夫

「里海」とは、この言葉の提唱者である柳哲雄氏（九州大学応用力学研究所 教授）によって、「人手が加わることにより生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域」と定義されている。そして具体的な里海の創生例についてもすでに多くの沿岸海域での立派な努力の

成果が発表されつつある（例えば、柳哲雄著『里海創生論』恒星社厚生閣出版、2章里海創生例参照）が、創生の方法はそれぞれの沿岸の海域と海岸域の自然環境と社会環境の実状に応じて工夫されるべきであって、共通認識的な方法論は確立されていない。

しかしながら、里海創生を効率的に推進するためには、多くの社会的運動で評価されている「産・官・学・民」の積極的な協力が必要であり、有効であることは明らかである。

「里海づくり」においては、「産」は沿岸漁業者を、「官」は水産、沿岸海洋管理分野の役人を、「学」は沿岸海洋学、水産学分野の学者、技術者を、「民」は広く一般市民を対象にしてよいであろう。

そのなかで、とくに「学」については、新発足の「研究会議」の果たすべき役割が大きいことを十分に認識しているが、「里海づくり」のような新しい社会的運動のなかでは、「学」のありかたについても、従来の大学研究者の「専門分野内での学術的成果の探求」のみを対象とする「狭い学」の限界を越えて、目的達成のために広域かつ多様な関連諸分野との共同活動とその成果の現場活用を図る「広い学」の展開に努めるべきであろう。

具体的には、科学者・技術者の分類、学校・会社・工場・作業現場などの職場区分、理学・工学・水産学・経済学などの専門対象にこだわることなく、相互に十分な意見交換を行いながら共通の目標達成のために努めるべきであろう。

このような意見の交換、情報の共有、成果の広域利用の場の積極的提供こそが、われわれの新組織「里海づくり研究会議」設立の大目標であることを強調し、多くの同志の参加を呼びかけておきたい。

#### 「里海づくり研究会議」の主なメンバー

理事長	奥田 節夫	京都大学 名誉教授
副理事長	柳 哲雄	九州大学応用力学研究所 教授
理事	大久保 賢治	岡山大学大学院環境学研究科 教授
理事	片山 敬一	貝殻利用研究会 会長
理事	清野 聡子	九州大学大学院工学研究院 准教授
理事	藤原 建紀	京都大学大学院 海洋生物環境学分野 教授
理事	松田 治	広島大学 名誉教授
業務執行理事 (事務局長)	田中 文裕	元岡山県水産課長
顧問	鷲尾 圭司	水産大学校 理事長



住む人と飲んで初めてわかることもある  
こうしたコミュニケーションも重要です！！